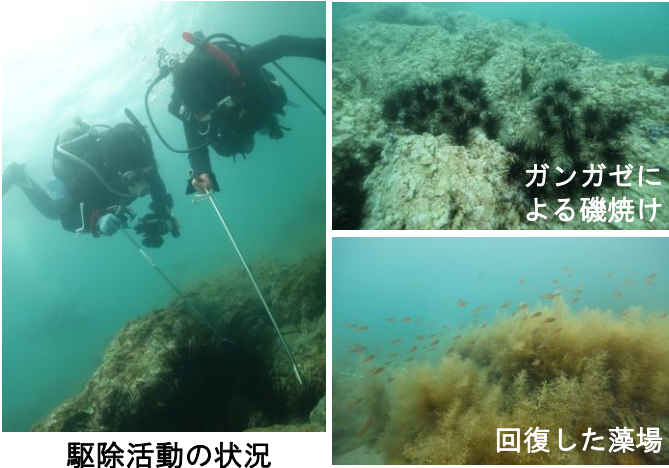


創出者情報	カーボンクレジット概要
<p>創出者名（代表申請者）：NPO法人SEA藻</p> <p>共同申請者/実施者：南伊勢町、紀北町、株式会社paramita、三重外湾漁業協同組合、三重大学藻類学研究室、鳥羽市水産研究所</p> <p>担当者連絡先：鈴木</p> <p>TEL：052-715-4417</p> <p>E-mail：seamo@suzuki-diving.co.jp</p> <p>URL：ジャパンプルーエコノミー研究所（JBE） https://www.blueeconomy.jp/credit/</p>	<p>カーボンクレジットの種類：Jブルークレジット®</p> <p>プロジェクト名：三重県熊野灘における藻場再生・維持活動</p> <p>対象生態系：海藻</p> <p>プロジェクト区分：自然基盤・人口基盤・吸収源の新たな創出・吸収源の回復・維持、劣化抑制</p> <p>プロジェクト期間：2015年4月から現在まで</p> <p>申請対象期間：2017年5月から2025年5月</p> <p>創出予定の総量：未定</p> <p>創出したクレジットの総量：98.7トン-CO2（2022年度から2024年度）</p> <p>直近の取引実績：なし</p>

創出したカーボンクレジットの紹介
<ul style="list-style-type: none">SEA藻は南伊勢町、紀北町、 三重外湾漁業協同組合、 三重大学藻類学研究室、鳥羽市水産研究所と協同で2015年からウニ類（ガンガゼ）の駆除活動を実施してきました。本プロジェクトの対象としている三重県熊野灘海域において、ウニ類（ガンガゼ）を駆除することで海藻が増加すると報告（倉島ら、2014）された手法を用い、最も効率的なスキューバダイビングによる駆除活動を継続して行ってきました。活動は一般ダイバー、三重大学ダイビングサークル、愛知県立三谷水産高等学校生等のボランティアダイバーの力を借りて実施してきました。その他、海藻の種を出す母藻の設置や芽（種苗）の取り付けを行ってきました。藻場を維持するためには徹底した駆除及び継続の必要があると考えています。ボランティアダイバーの参加費を通常のダイビングツアーと比較して低価格に設定して参加しやすくしており、掛かる経費（器材レンタル費や保険料、交通費等）を民間団体からの助成金等で賄っていますが、目に触れる機会の少ない海洋環境の保全への助成は限られているのが現状です。カーボンクレジットの販売により、外部の助成金等に拠らない持続可能な活動資金を得ることを目指しています。

これまでの取組状況、今後の予定
<p>対象地域におけるガンガゼの駆除数：1,759,478個体（2015年4月から2025年10月18日）</p> <p>2025年10月：2025年度プロジェクト申請（意見公募中：2025年10月17日から11月7日）</p> <p>審査認証委員会後、クレジット認証・発行予定</p>

カーボンクレジットの活用を検討されている方へ
<p>海洋に直接かかわる事業を行っている企業のほか、間接的にでもかかわっているまたは、現在全く海とかかわりのない企業にも広く海洋環境について関心を持っていただく機会にしていただければと考えています。</p>



駆除活動の状況

回復した藻場

創出者情報

創出者名：中勢森林組合
担当者部署連絡先：企画課
TEL：059-262-3020
E-mail：chusei@ztv.ne.jp
URL：<http://chusei-forest.jp/>

カーボンクレジット概要

カーボンクレジットの種類：J-クレジット（方法論：森林）
プロジェクト期間：令和6年から令和16年
創出予定の総量：約70,000トン-CO2
創出したクレジットの総量：0（令和7年 約7,700トン創出予定）
直近の取引実績：なし（令和8年度販売予定）

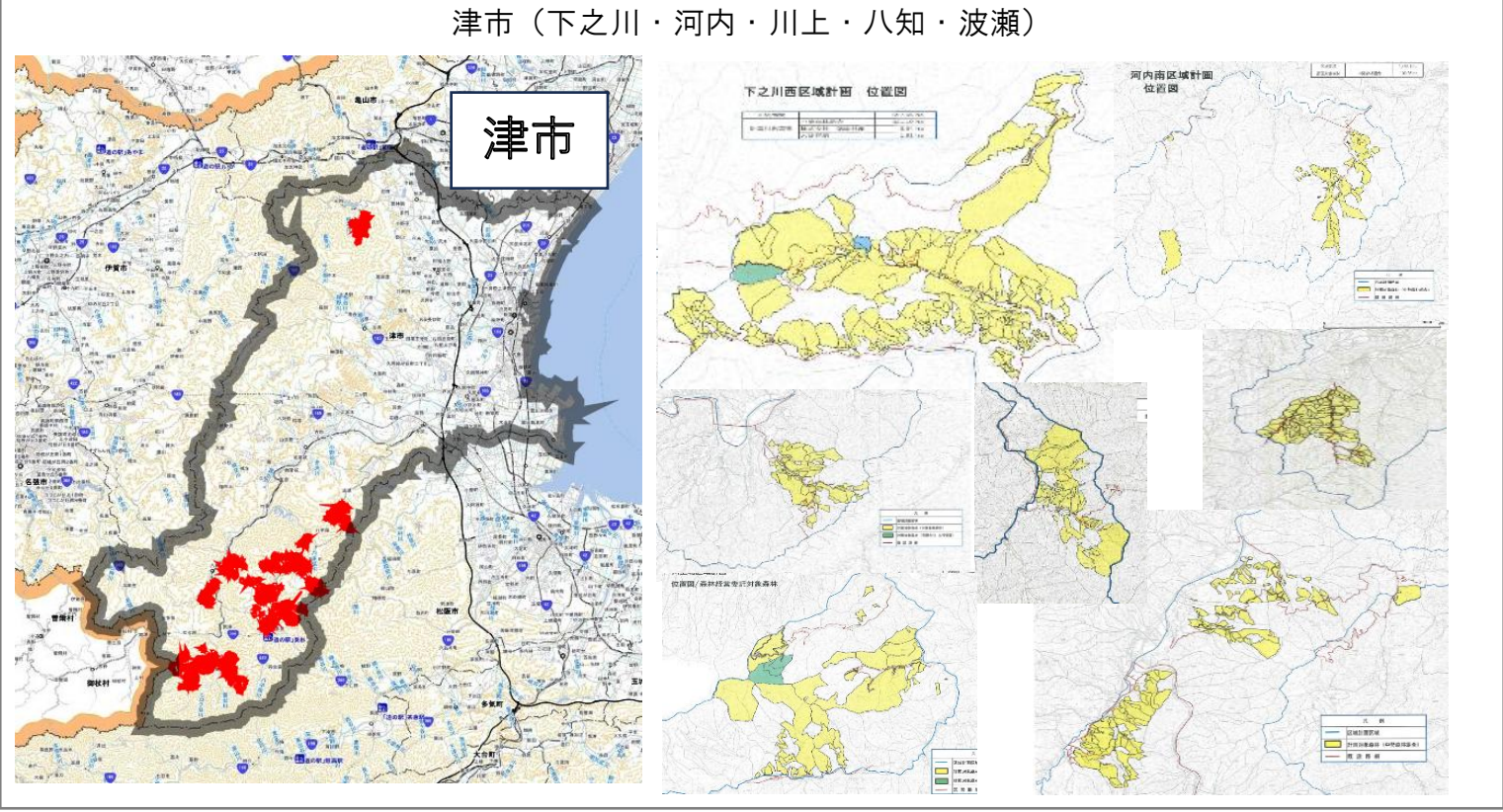
創出したカーボンクレジットの紹介

- ・津市の森林面積は、市総面積71,100haの58.4%にあたる41,500haをしめており、特に芸濃地域から美杉地域に続く西部山間地域においては、古くから造林に取り組み、スギ、ヒノキ等の人工林率が82%を超える高い率を占めております。
- ・本プロジェクト登録地は津市内の私有林を対象として約1,580haの面積をプロジェクト登録しています。

これまでの取組状況、今後の予定

2024年11月：プロジェクト登録
2026年3月：クレジット約7700トン創出予定

創出地域



カーボンクレジットの活用を検討されている方へ

中勢森林組合が進める「三重の森からCO2津吸収プロジェクト」の最大の特徴はJ-クレジットによる収益を森林の整備や森林所有者への還元、さらには木育など次世代に向けた環境学習へ活用する循環型の取組みであることです。
この活動を通じ、森林の新たな価値を創出し、森林所有者が再び「森をもつ意義」を実感できることで、地域の森林を持続的に守り育てる新しい森林保全モデルの構築を目指します。企業・団体の皆さまには、カーボンオフセットを通じてこの活動にご参加いただき、ともに地域と森林の未来を育むパートナーとなっていただければと考えています。

創出者情報

創出者名：大台町

担当者連絡先：大台町役場 森林課 岡本

TEL：0598-82-3794

E-mail：shinrin@odaitown.jp

URL：https://www.odaitown.jp/soshiki/yakuba/1_1/1/435.html



カーボンクレジット概要

カーボンクレジットの種類：J-クレジット（方法論：森林）

プロジェクト期間：2020年4月1日～2028年3月31日

創出予定の総量：13,209t-CO₂

創出したクレジットの総量：5,256t-CO₂（旧J-VER+J-クレジット＝11,447t-CO₂）

直近の取引実績：166t-CO₂（R6年度販売）総取引実績：6,732t-CO₂を無効化

現在取引可能総量：4,715t-CO₂

創出したカーボンクレジットの紹介

2004年に発生した台風21号豪雨による土砂災害の教訓から、森づくりを見直し、様々な取組を進めた中の一つがJ-クレジット（旧J-VER）でした。

大台町は町内全域が大台ヶ原・大峰山・大杉谷ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）に登録されており、町が管理する町有林約1,547haでJ-クレジットを創出し、企業と連携し町内の森林保全活動「多様性のある森づくり」を進めています。

これまでの取組状況、今後の予定

2008年 大台町苗木生産協議会を設立し地域性苗木の生産を開始

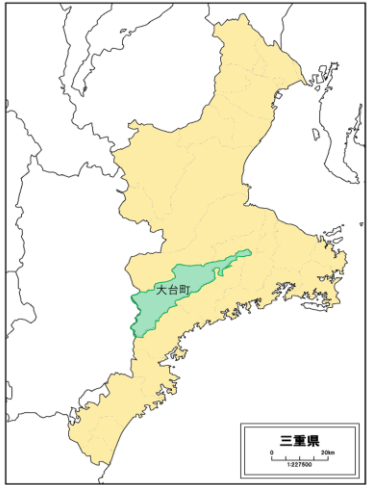
2010年 東海地区初 J-クレジット（旧J-VER）の創出開始

2013年 カーボン・マーケットEXPO2013で環境大臣賞（カーボンオフセット大賞）を受賞

2016年 カーボンオフセットを活用した企業の森をスタート

2022年 森林保全団体と企業が連携した多様性のある森づくりがスタート

創出地域



町有林から望む大台町内（総門山）



カーボンクレジットの活用を検討されている方へ

大台町では企業様と連携し、多様性のある森づくりと地域活性化を連動させた森林保全活動に取り組んでいます。

カーボンオフセットの取引から、森づくりなどの森林保全活動といった、新しい取組や連携を熟考している企業様のご参加をお待ちしております。
ユネスコエコパークで多様性のある森づくりと一緒に取組んでみませんか？

創出者情報

創出者名：三重県
担当者連絡先：農林水産部 森林・林業経営課 西内
TEL：059-224-2564
E-mail：shinrin@pref.mie.lg.jp
URL：https://www.pref.mie.lg.jp/SHIN_RIN/HP/m0116700223.htm

カーボンクレジット概要

カーボンクレジットの種類：Jークレジット（方法論：森林）
プロジェクト期間：令和5年度から令和13年度
創出予定の総量：8,564トン-CO2
創出したクレジットの総量：899トン-CO2（令和5年度分）
直近の取引実績：なし（R7年度販売予定）

創出したカーボンクレジットの紹介

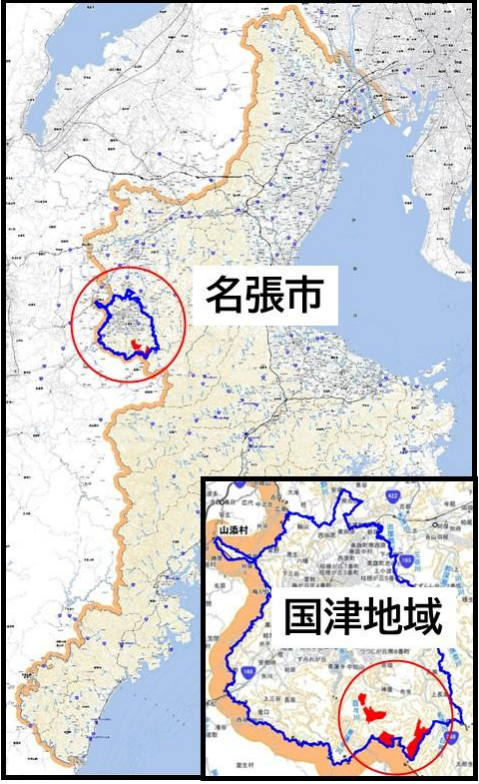
- ・本取組の対象とした森林は、三重県名張市の国津地域に位置し、面積は約223haで、そのほとんどがスギ・ヒノキの人工林により構成されています。
- ・対象森林は、県が樹木の植栽及び保育・管理を行う県行造林です。古いところでは、明治40年から造林を実施しており、100年の森として計画期間中、継続的な保育・管理を行っていきます。
- ・Jークレジットの収益を活用して森林整備を行い、長期にわたる持続可能な森林管理を目指します。

これまでの取組状況、今後の予定

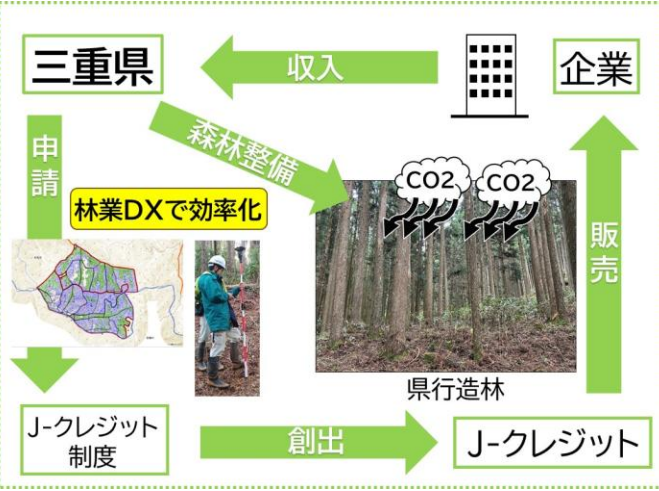
令和6年1月：プロジェクト登録
令和7年1月：クレジット899トン創出

創出地域

三重県 名張市（国津地域）



県行造林



カーボンクレジットの活用を検討されている方へ

県の創出した「美し国みえ森林Jークレジット」を購入することで、一緒に三重の森林づくりに取り組みませんか？